

# 平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

## 1. 学校概要

学校名 ナーサリー富田幼稚園  
種 別  保育園・幼稚園  小学校  小中一貫<sup>※注1</sup>  
 中学校  中高一貫<sup>※注2</sup>  高等学校  
 教員養成大学  専修学校、各種学校  
 特別支援学校  
 その他（例：小中高一貫）  
※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒770-0937  
徳島県徳島市富田橋5-15

E-mail info@nurserytomida.com

Website http://nurserytomida.com

幼児児童生徒数 男子 64 名 女子 67 名 合計 131 名  
幼児・児童・生徒の年齢 1 歳～ 8 歳

## 2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

## 3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項1-1、2-1に対応

ナーサリー富田幼稚園は『Liberal arts and Noblesse oblige』を教育理念として、日本人として世界で必要とされる役割を果たすための基礎教育をESDの実践を通して行いました。

主な取り組みとして、①郷土及び国内外の文化や情勢を知り興味関心を高める国際理解学習、②大地に触れ、生きとし生けるものをつながる命の価値観を養う地域環境学習、③備え、行動できる人になるための防災学習を行いました。

### ① 国際理解学習

5月27日

親子まわし読み新聞制作（5/28徳島新聞）

6月3日

映画『100年ごはん』上映会（ゴーゴーミュージックカフェ）

無化学合成農薬・無化学肥料の野菜作りを推進する大分県臼杵市のドキュメンタリー映画の上映会および交流会（実行委員会形式）（5/23徳島新聞）

8月10日

戦争資料館見学・学習

10月12日

危機管理学習・徳島県庁／県議会見学（徳島県庁）

北朝鮮情勢の緊迫化に関するJアラートシステムおよび県危機管理体制についての学習（10／13徳島新聞）

10月14日

トリコロール映画祭2017（アクアチッタ）

フランス映画5作品の上映会。幼児が会場設営を担当。（実行委員会形式）

フランス大使館よりエサディ氏来県。（10／5徳島新聞）

11月4日

憲法ポスター展授賞式（東京）

8月実施の学童による憲法学習（自主憲法の創作ワークショップ）で制作したポスター1点が金賞受賞。（12／12徳島新聞）

11月26日

ぴぴぴピカソ展（アミコ徳島）

キュビズムをテーマにした作品展示会と（11／4ワークショップ）

2月26日

日本の文化学習（大阪から講師招聘）

挨拶・食事の作法について

3月6日

まちづくりワークショップ・市長発表（徳島市役所）

20年後の徳島駅前について考えるワークショップ（2／29・30）と市長への発表。（3／6四国放送、NHK、2／29、3／7徳島新聞、9朝日新聞、13読売新聞、）

通年

- ・学童による氏神神社清掃奉仕（月1回）
- ・こども新聞制作（2018年6月発行書籍にて紹介予定）

## ② 地域環境学習

4月～10月

レタス・タマネギ・とうもろこし・さつまいも収穫体験

## ③ 防災学習

3月10日

東日本大震災復興支援街頭募金活動及び学習

（3／11徳島新聞、読売新聞、朝日新聞）



① まちづくり計画市長発表



② レタス収穫体験



③ 街頭募金活動

## (2) 活動の詳細

### ① 活動内容

#### 国際理解学習

##### 『親子まわし読み新聞制作』

6年目となったこども新聞制作は、こどものみの取り組みであったが、同様の手法をとる『まわしよみ新聞※陸奥賢考案／読売教育賞 高校国語教科書採択』が全国的に広がっていることから大人もこどもの学習を体験してもらう主旨で実施。大人が社会への興味関心を高め、社会参加することによって、こどものお手本となるよう促す。

##### 『映画（100年ごはん）上映会』

身体と命を作っている食について学ぶ機会をこどもと大人に提供。野菜をテーマにした会場装飾ワークショップを幼児に実施。当日は大人と共に地元野菜、臼杵の野菜などの試食と共に映画鑑賞。大林監督によるトークライブを楽しみ、命と食について考えました。

##### 『戦争資料館見学・学習』

護国神社附属の資料館にて担当職員による講話を聴く。小学校だけの戦争学習にとどまらず多角的に先の大戦を学び、緊張が高まる社会情勢についても考えられるよう企画。地元への大規模な空襲被害についても学びました。

##### 『危機管理学習・徳島県庁／県議会見学（徳島県庁）』

北朝鮮による連日のミサイル発射を受け、Jアラートと日本の危機管理体制への関心が高まっていることから親子での学習機会を提供。県庁内のJアラート設備見学、危機管理課職員によるブリーフィングならびにミサイル発射時の避難行動を体験学習。県議会議場、議長応接室も合わせて見学。

##### 『トリコロール映画祭2017（アクアチッタ）』

フランス政府公認機関アリアンスフランセーズ徳島との交流と、映画館取材等での映画関係者との交流が重なり、映画祭実施組織として参加。12メートルのフランス国旗、その他会場装飾を制作。フランス大使館より担当職員が来県し意見交換を行いました。文化政策としてフランス映画の振興を進めているが、児童向け映画についても今後は手厚くしていくよう本国に報告する旨返答いただきました。

##### 『憲法ポスター展授賞式（東京）』

9条保持、改憲などで様々な意見が交錯する中、興味関心を高めて自分の頭で考え行動判断ができる人になるための基礎学習を行いました。集団が快適に生活するためのルールとして憲法があることを、園生活のルールを自分たちで考えて決める自主憲法創作ワークショップによって学習。合わせて制作したポスター1点が日弁連憲法ポスター展で金賞を受賞し、受賞園児が東京での授賞式に出席しました。

##### 『びびびピカソ展（アミコ徳島）』

レジヨエミリア教育を実践する芸術士による作品制作ワークショップならびに

展示会を行いました。ピカソによるキュビズムは他視点から物事をとらえて一つの紙面に落とし込む運動であり、多様な価値観の包括を求めるESDの概念と繋がることからテーマ設定しました。

『日本の文化学習（大阪から講師招聘）』

海外文化の吸収と同時に、基底文化として日本の伝統文化についても学びを深める機会を企画・実施しました。言葉の挨拶、態度のお辞儀、お箸がなぜ左向きに置かれるのかについても学びました。

『まちづくりワークショップ・市長発表（徳島市役所）』

議論が進む駅前再開発に幅広い世代の意見を反映させるため、20年後の徳島駅前をテーマにフィールドワークならびにマップ制作を行いました。まとめたものを社会人勉強会（台湾地震学習と併修）ならびに市長に発表。再開発計画策定の一助にする旨解答いただきました。

通年

- ・学童による氏神神社清掃奉仕（月1回）
- ・こども新聞制作（2018年6月発行書籍にて紹介予定）

① 地域環境学習

『レタス・タマネギ・とうもろこし・さつまいも収穫体験』

農作物の収穫から料理までを一つのつながりとして学ぶと共に、価格調整による大規模な収穫放棄など膨張資本主義のひずみを目の当たりにするなど教科の枠組みにとらわれない学習を行いました。

③ 防災学習

『東日本大震災復興支援街頭募金活動及び学習』

想うだけでなく、行動に移すことができる人を育てると共に、震災の記憶と教訓を引き継ぐための学習と募金活動を行いました。今年度は福島で被災した人から聞き取りも行い、募金箱、声かけなどの準備に生かしました。

※チェック事項1-2, 2-1に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他( )		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
---	--

<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながり尊重する態度
<input checked="" type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入 )	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述 )	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

十七条の憲法 (聖徳太子) ゲルニカ (ピカソ) まわしよみ新聞 映画100年ごはん
---

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程 (指導計画) にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。(200~300字程度)

※チェック事項1-2, 1-3に対応

幼稚園教育要領5領域のうち ▽人とのかかわりに関する領域「人間関係」 自分の意見を言うことができると共に、人の意見も聞いて、物事の判断ができるようになるための対話学習を実践。  ▽身近な環境とのかかわりに関する領域「環境」 社会での実体験を重視し、経験に基づいた応用行動ができるよう促す。  ▽言葉の獲得に関する領域「言葉」 異世代との交流を通して伝える行為の難しさと大切さを実感。学習意欲の向上につなげる。  ▽感性と表現に関する領域「表現」 多様な文化と表現に触れる機会を設定し、表現の消極的な固定化を防ぐ。
---

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。(200字程度)

※チェック事項1-4に対応

29年度は柔軟な組織運営を心掛けると共に、外部団体と積極的に協働し、単独実施が難しい大規模学習(映画祭、フィールドワーク等)を実施運営しました。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価(内部/外部)の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。(200字程度)

※チェック事項1-5に対応

職員会議での内部検証と共に、情報公開による保護者、一般市民の参加を通して多くの視点から取り組み評価をヒアリングしています。課題として、比較検証する事例が少なく、またその検証方法も不明用なため、今後更に情報収集を進める必要があると考えます。

- ⑤ ESDの推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度)

※チェック事項2-2に対応

情報メディアでの発信は及第点と思われるが、ESDが広がっているとは言えず、他組織でも応用ができる内容の発信が求められています。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)(200字程度)

※チェック事項2-3に対応

29年度は特に協働を意識し、積極的に他団体との取り組みを強化しました。その結果、ESDに関する取り組みだけでなく介護施設の慰問訪問、他園との交流事業など様々な取り組みへと波及しました。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度)

※チェック事項2-4に対応

情報収集不足で他ユネスコスクールとの交流関係構築には至っていません。

- ⑧ ユネスコス쿨の活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）  
※チェック事項2-5に対応

社会に影響を与える取り組みを率先して行うことで、庇護の対象と見られがちな幼児・児童の存在力が高まりつつあります。  
活躍が喧伝されることにより、保護者・地域住民の積極的な取り組み参加が増え、社会を導く人材を地域で育てていく郷土の気風が作られようとしています。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

他団体との協働を更に進めると共に、先進教育に偏りがちだった近年のカリキュラムを見直して基礎学習の充実を図ります。

その他、  
東大生との交流事業  
県内幼稚園の交流サッカー大会の充実  
エシカル消費の学習実践  
フランス映画祭の充実  
こども自治会の組織化

などを計画中です。